

令和3年度PTAの本部役員へのお誘い

令和2年9月／根戸小PTA本部

『来年度は根戸小PTAを解散します！』

そう言われたらどう思いますか？

でも、役員をやる人がいなかったら、解散を検討しなければいけなくなるかもしれません。

私には役員なんて無理！と思う方が多いかもしれませんが、ぜひ最後まで読んでください。

PTAって本当に必要なの？

PTAを廃止して話題となったある学校では、廃止後にすぐに似た組織を結成して活動するようになりました。不便なことがいろいろあったようです。

今年度、コロナ禍の中で活動をしていると、やはり『PTAは必要である』と感じることが多いです。

先生方と様々なことを話し合い、考えながら、求められるものや、必要なものに絞っての活動は、その本質に近づいていると感じます。

そうは言っても役員って大変でしょ。

PTAはボランティア団体ですので、無理してまでやるものではありません。

ましてや家庭を犠牲にしてやるのは本末転倒です。大変だと思ったらお手伝いを募集するなど、根戸小に関わる全ての人が協力すれば、特定の人だけが頑張らないといけないものではないと考えています。

できることをできる範囲でできる限りの精一杯でやっ払いこう！

そんな活動に参加してみませんか？

なお、来年度の本部役員の選考は、今年度は委員会活動を行っていないため、本部役員内の担当者とボランティアに応募していただいた方にて行います。

-----そもそもPTAって何だろう？-----

学校生活をより良いものとするために保護者と教職員が協力するものと考えています。

-----本部役員って何をするの？-----

会長（1名）———校内行事挨拶、校内行事出席、会議の招集、手紙の把握

副会長（2名以上）———会長の補佐、PTA活動の取りまとめ、本部文書作成

書記（2名以上）———会議の議事録作成と報告書作成、印刷物の管理、文書作成

会計（2名以上）———PTA会計の予算案作成、中間＆年度末決算作業、備品管理

会計監査（2名以上）———PTA会計の監査、給食費＆教材費監査、ベルマーク全般

※これら以外に役員全体として、本部役員会や常任委員会の開催、行事お手伝い、各委員会の窓口などがあります。

※来校頻度は通常は月2回程度です。年度末、年度始めはそれより少し多くなります。

活動のスリム化を進めています。

印刷物を極力なくしてようになっています。

メール、ホームページ、ウェブアンケート、SNS 等を活用した活動をしています。

学校などに集まるのは本当に必要な時に絞っています。

やってよかった、こんなことあんなこと。

- ・学校のことをよく知ることができる。
- ・子供と学校の話が増える。
- ・先生方と仲良くなれる。
- ・とにかく楽しかった！

Q & A

Q 1 仕事をしていても大丈夫ですか？

A 1 今年度の本部役員はフルタイムで仕事をしている人が多く、ほとんどの方が仕事をしています。

お店をやられている方もいます。そのようなメンバーでも無理のない活動をしようとしています。

学校が開いている時間に活動をしないといけない時もありますので、出勤日や店休日を調整して対応することがありますが、できる限り少なくなるように相談してやっています。

集まった役員のメンバーによって活動しやすい日が変わってきます。

やりやすいやり方を話し合って活動していくしかないと思っています。

Q 2 パソコンができないとダメですか？

A 2 できなくても大丈夫です。

ぶっちゃけてしまうと全員ができないとなると厳しいかもしれませんが、パソコンを使うのは配布文書、ホームページ掲載資料の作成くらいです。これも手書きがダメということはないので、必ず使うというわけでもありません。

それぞれの方が得意なことを持ち寄って活動すればやっていけると考えています。

ただし、今ほとんどの連絡や相談、決め事は LINE を使ってやっています。スマホは使えた方がいいと感じています。

Q 3 子供の病気や急用などで活動を休むことはできますか？

A 3 活動は候補日をいくつか出して、なるべく多く参加できる日を選んでいきます。

それでも全員が揃うのは難しいのが現状です。事前に決めても欠席はあります。**無理を重ねてまで出席するものではないと考えています。**（Q 5 も参照してください。）

Q 4 父親でもできますか？

A 4 もちろんできます。今年度、会長 1 名、会計監査 1 名が男性です。

役員の中でうまく分担してやれば、やっていけると思います。

男性の意見に「そういうこともあるんだ」と思うこともあるので、男性もいた方がいいと感じています。

Q 5 小さい子を連れての活動はできますか？

A 5 小さい子を連れての参加も大丈夫です。

子供を預けて参加できる時もありますし、預けられない時もあると思います。今年は「リモートによる参加」という考え方が出てきました。預けられない時は活用して対応することもできるのでは、と考えています。（これは子供の急病等の場合も活用できるかもしれません。）

様々な立場の、様々な考えを持った人の、いろいろな意見を取り込んでいけることが大切だと思っています。

そのため、小さい子がいる家庭の方にもやってもらいたいと感じています。

Q 6 この役職ならやりたい。この役職以外だったらやりたい、と希望することはできますか？

A 6 希望はできますが、必ず希望通りになるとは限りません。希望が重なった場合は話し合いで決めます。

ポイント制度について

できる限り児童一人につき 6 年間の在学中に、児童一人につき 1 役（1 ポイント）を下記の委員を務めることで受けていただきます。

学年委員	文化委員	広報委員	本部役員選考委員	バザー委員
地区委員(少年指導員を含む)		PTA バレーボールのキャプテン		

※少年指導員は任期 2 年のため、2 年目は兄弟姉妹にあてることができます。

PTA 本部役員を引き受けた人は、年間の活動内容や活動量を勘案し、その任期中に在学している児童全てにポイントをあてることができます。

PTA 本部役員を 1 年やると在学中の子全員にポイントがつく

⇒2 人でも 3 人でも、在学中の子の分は 1 回（1 年）で委員活動完了！！

ポイント管理について

委員を引き受けていただいたのに、その記録が残っていない（やったかどうか、はっきりわからない）ということのないように、**やっていただいた委員の記録を過去 6 年分保管しています。**

~~~~~P T A会長から~~~~~

今年度、本部役員のメンバーが決まった時点で「できる人ができることをできる時にやる」ということ掲げました。今後P T Aはこの考えを基本としないと回っていかないのではと感じているからです。

「ごめんなさい、今ちょっとできないので誰かできませんか?」「私、今ならできますよ」という、助け合える関係が大切で、Q & Aの内容はほとんどこの関係性で乗り切っていけるものと考えています。

それでも乗り切れないものは助けを求めて、ボランティアやアイデアを募集、または見切りをつけて、思い切ってやめってしまうことも検討してみれば良いと思います。

昨年度いただいた意見で、今年度もほぼ同様の意見をいただいているものがあります。

「今後は、専業主婦主体ではなく保護者全体（男女、仕事をしている・していない関係なく）で、本当に必要な業務を行っていくべきだと思います。」

まさにその通りだと思います。今はそんな活動に変えるチャンスかもしれません。

ちょうど一年前、このお手紙が配られるのとほぼ同時期に、あることがきっかけで「来年会長やりませんか?」とお誘いを受けました。それまで、ほとんど学校のことを知らず、もちろんP T Aについても何も知りませんでした。

それから学校行事、P T Aの活動に参加するようになって、子供の学校での様子、学校自体の雰囲気などを肌で感じ、子育ての楽しさを再認識しました。

きっと、興味はあるけど「無理!」と思っている方が多いと思います。

お父さんが出られないときはお母さんが代わりに出る、またはその逆、という夫婦協力での参加というやり方もあるかもしれません。

P T Aが、家庭にて子供や家族で学校のことを話す時間が増えるきっかけになる。

そういった小さなことの積み重ねで、子育てや子供の学校生活をみんなで楽しめることにつながる。

そんなP T Aになることを願っています。そういう活動をしてみませんか?

